

パブリックコメントに係る意見及び対応方針（案）

【案件名】 「いわき都市圏第二次都市交通マスタープラン（素案）」について

部課等名：都市建設部 都市計画課

| 人 | No. | 市民意見の内容 | 意見に対する市の考え方 |
|---|-----|--|---|
| A | 1 | ・小名浜道路開通にあたって添野IC付近の江畑～添野間の道路、山田IC・小名浜IC付近の下山田道路、下川IC付近の金山～早稲田の道路の拡充・整備は勿論、スマートインター開設に伴う、サービスエリア(休憩・飲食・観光)の創設が必須だと思います。 | ご意見いただいた主要幹線道路へのアクセス向上や道路サービス機能の充実については、非常に重要な視点であり、本計画においても、「基本方針3安全・安心」において「緊急輸送道路等へのアクセス向上」及び、「基本方針1交流・活力・楽しい」において「まちづくりと連携した魅力的な道路空間の創出」や「地方創生に資する道の駅の機能強化」などの施策を記載し、取り組んでいくこととしております。 なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| | 2 | ・勿来バイパスの整備は、勿来駅付近の都市開発は勿論、「交流スペース勿来(なっくる)」「勿来の関」に向けた無料シャトルバスの発車など、交通アクセス・観光サービスの提供を含めて、是非お願いしたいです。 | 地域の観光交流施設への円滑な移動に関する内容については、本計画では「基本方針2快適・便利」において「まちづくりと連携した交通結節点の強化」及び「観光地等へのアクセス性の向上」の施策を記載しております。 なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| | 3 | ・また、植田駅のエレベーター新設に加え、八幡神社・やまたまやに繋がる跨線橋を改築、「動く歩道」化してはいかがでしょうか？ | 植田駅構内の乗換跨線橋については、令和3年3月にエレベーターが設置されるなど、利便性の向上に向けた取り組みが進められているところであります。 ご意見いただいた交通結節点の機能強化等に関する内容については、本計画では「基本方針2快適・便利」において「安全対策と一体となった道路のバリアフリー化」及び「まちづくりと連携した交通結節点の強化」の施策を記載しております。 なお、ご意見については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| | 4 | ・「勿来駅」「ヨークベニマル植田店・勿来錦店」「マルト東田店・中岡店」への無料シャトルバスルートを構築して頂きたいです。 ・「植田中学校」「植田東中学校」行きのスクールバスも欠かせません。 ・駅舎に複合型商業施設を増設し、経済循環を生み出し、医療・教育機関とのアクセスを図り、「街の利便性」を生み出し、「勿来支所」・「勿来消防署」を誘致することで、「安心・安全な都市開発」が実現出来ると思います。 | 勿来地区におきましては、「第二次いわき市都市計画マスタープラン」において、市南部地区の都市機能の集約を図りながら、市内外の広域的なネットワークの形成を担う「広域拠点」として位置づけ、製造業やエネルギー産業を担う拠点都市として躍進し続ける都市づくりを目指すとともに、本市の南の玄関口として相応しい都市づくりを進めることとしております。 本計画は、当該マスタープランに示す都市づくりの実現を交通面で支える計画としており、本計画では、地域内の交通環境の向上に関する内容について、基本方針に「快適・便利」を掲げ、移動の円滑化に向けた道路環境の整備や選ばれる移動手段として公共交通の利便性の向上を図る方向性を示しており、「まちづくりと連携した交通結節点の強化」、「モーダルコネクットの強化」などの施策を記載しております。 なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| | 5 | ・市内の小中学校までの通学路は、道幅は十分でしょうか？多くの場合、校舎のフェンスと狭い道路に挟まれ、恐る恐る登下校する児童生徒が殆どかと思えます。無電柱化は勿論、夜間照明や、十分な道幅や車道・歩道の整備、市内13地区という広域都市に見合った公共交通機関網の完全整備、無人駅も有人駅も十分な集客と輸送が行えるインフラを拡充し、交通のみならず、商業や観光面も賄える設備投資が必須です。 | 全国で多発する通学時に児童生徒が巻き込まれる交通事故を受けて、本計画では、「基本方針3安全・安心」において「通学路の安全対策」、また、無電柱化をはじめとした道路空間の整備に関する内容については「無電柱化の推進」、「線形不良・狭あい道路の解消」、「安心して利用できる自転車走行空間・歩行空間の整備」などの施策を記載しております。 さらに、商業面や観光面への波及効果を踏まえた公共交通機関網の充実に関する内容については、人々が集い、活動を育む交通体系の構築を目指し、基本方針に「交流・活力・楽しい」を掲げ、市街地における賑わいと憩いを生む交通環境の整備を図る方向性を示しており、公共交通機関網の充実に係る施策として、「拠点間ネットワークの充実強化」、「基幹・支線による公共交通ネットワークの構築」を記載しております。 なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| | 6 | ・何よりもスマートフォン・タブレット・PCで市内各交通網を確認出来るソフトウェア・アプリを開発し、市民に届けて下さい。 | ご意見いただいたように、公共交通機関の利用促進につなげるため、ICT技術等を活用して利便性や快適性の向上を図ることは重要であると考えており、本計画においても、「基本方針2快適・便利」において「公共交通の分かりやすい情報提供」や「ICT活用による公共交通システムの高度化」などの施策を記載しております。 なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |

パブリックコメントに係る意見及び対応方針（案）

【案件名】 「いわき都市圏第二次都市交通マスタープラン（素案）」について

部課等名：都市建設部 都市計画課

| 人 | No. | 市民意見の内容 | 意見に対する市の考え方 |
|---|-----|--|---|
| A | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクルロード、サイクルステーション、道の駅やサービスエリアを各地に整備することは勿論、渋川・鮫川・蛭田川・四時川・夏井川・藤原川・好間川を中心に「遊歩道」を整備し、「ウォークラリー」を開くのはいかがでしょうか？「フォトコンテスト」と同時開催で、「健康増進」「景観・環境保護」に繋がると思います。 | <p>コロナ禍や健康志向等を背景にニーズが高まっている自転車利用環境については、本計画では「基本方針2 快適・便利」において「自転車ネットワークの構築と自転車走行空間の整備」や「自転車利用環境の向上」の施策を記載しております。</p> <p>また、交流促進や地域の活性化に向けた道の駅等の道路サービス機能の充実については、「基本方針1 交流・活力・楽しい」において「地方創生に資する道の駅の機能強化」を記載しております。</p> <p>なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> |
| B | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・ バス、タクシー、鉄道等の公共交通ネットワークは市内で網羅されているものの、足腰が弱い人や体調が優れない人、料金の面からタクシーの利用しない・できない人などにとっては、バス停や駅までの道を容易に移動できることが重視される場合がある。 ・ 市営や業務委託、ボランティアなどにより、そのような移動手段を確保してはどうか。その他、市から請負業者に市内用商品券や税控除・優遇などの措置をするやり方もある。 ・ 車両は軽車両（人力車、電動アシスト自転車など）で市から提供（貸し出し）し、市内各地に駐車場を整備する。 ・ 配車は、ウーバーイーツのような連絡体制をとり、決済方法はQRコード（スマホであれば運行記録を取れたりもする）や電子マネー、クレジットカード決済などをする。 ・ 路面の凹凸で走行しづらい箇所が見つければ、その情報をもとに修繕等を行う。 ・ 内燃機関や外部電源に頼らない小規模（移動距離・速度）な移動手段、狭い道や家の前も移動領域に含められる小型の輸送車両、このような交通手段を試みることも不可能ではないのではないか。 | <p>今後の人口減少を鑑みると、交通弱者の移動手段の確保は重要な課題と捉えており、そのような課題の解決に向けて、本計画においても、「基本方針2 快適・便利」において「中山間地域等における新たな交通手段による地域内交通の提供」、「ICT活用による公共交通システムの高度化」、「MaaSの構築・普及」の施策を記載しております。</p> <p>また、本計画は「第二次いわき市都市計画マスタープラン」や「いわき市立地適正化計画」などの上位・関連計画と整合を図りながら、ネットワーク型コンパクトシティを都市交通の面から推進するものであり、居住の誘導・人口密度の維持を図る「まちなか居住区域」において、公共交通を中心に利便性の向上を図ることとが必要と考えております。</p> <p>なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> |
| C | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 何か新しいものを作ったりするよりも、今あるもの（小さくても機能しているもの）を改善・強化していくことが重要。 ・ 夏に行う道路の草刈りや落ち葉拾いなどの道路美化活動を積極的に行う。 | <p>今後の人口減少に伴う交通需要の減少や、頻発化・激甚化する自然災害、厳しい財政状況等を背景として、現在の道路交通サービスを改善又は強化し、安全で快適なサービスを提供することは重要な視点であり、本計画においても、「基本方針2 快適・便利」に「路線バス・鉄道の利便性、快適性向上」、「基本方針3 安全・安心」に「道路の日常的な維持管理」、「基本方針4 持続可能性」に「LCCを考慮した施設の長寿化」などの施策を記載しております。</p> <p>なお、ご意見については、関係機関と情報共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> |